



編集後記

文章校正にあたり、執筆者の知識と表現力に感動します。校正しながら勉強させていただいております。図書室担当者の代表雑誌として「日赤図書館雑誌」がますます発展し、情報の発信源になれるようお願いします。
(名二 宮岡千代子)

今年は済生会病院図書室の皆様との合同研修会など新たな展開がありました。協議会内の文献複写代金無料化もあり、日赤図書館雑誌21巻は図書室同志のつながりがテーマのひとつになったと思います。
(深谷 中村哲子)

昨年に引き続いて、今年も編集委員をさせて頂きました。ほんの少しのお手伝いしかしていませんが、皆様の図書業務の参考になる1冊になれば大変うれしく思います。ありがとうございます。
(高松 石下美代)

編集委員のお仕事も気がつけば3年目を迎えました。3年たっても校正の難しさを思い知らされますが、日赤図書館雑誌と供に成長していきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。
(横浜みなと 吉村晶子)

日赤図書館雑誌の編集に携われたことを大変うれしくお礼申し上げます。校正作業に不慣れでお役に立てずじまいでしたが、今回の勉強をもとに、より魅力的な雑誌編集に繋げられるようがんばりたいと思います。
(伊達 小野佳代子)

編集委員として編集作業に携わることができ、大変光栄に思います。至らない点多々あったかと思えますので、次回はもう少しお役にたてるようにしたいです。ありがとうございました。
(高山 山崎恵理子)

日赤図書館雑誌は図書室について勉強になることがたくさんあった雑誌だと思います。執筆者の皆様、編集委員長の塚越様、編集委員の皆様ありがとうございました。
(岡山 亀山由紀乃)

第21巻の校正に携わることができ、不慣れながらも、気分はまるで編集者のように、楽しく作業させていただきました。今後も、微力ながらお役に立ちたいと思います。よろしく願いいたします。
(富山 川淵佳奈子)

今回の特集はいかがだったでしょうか。編集、調査、執筆は根気のいる仕事です。知識のみならず確認する、疑問を持つ、労力を惜しまないことを改めて思った次第です。執筆者の皆様、編集委員の皆様、ご協力いただきありがとうございました。
(前橋 塚越貴子)

日赤図書館雑誌

第21巻 第1号(通巻26号) 平成26年10月1日(年1回)

編集委員長 塚越 貴子(前橋赤十字病院)

編集委員 中村 哲子(深谷)、吉村 晶子(みなと)、宮岡千代子(名二)
小野佳代子(伊達)、山崎恵理子(高山)、川淵佳奈子(富山)
亀山由紀乃(岡山)、石下 美代(高松)

印刷所 朝日印刷工業株式会社

発行 日赤図書室協議会

事務局 広島赤十字・原爆病院(繁定繁乃)

〒730-8619 広島県広島市中区千田町一丁目9-6

TEL 082(241)3111 FAX 082(241)5261(図書室)

年会費 個人・機関：¥10,000 定価：一部¥1,000
